

# 令和元年度学位授与申請要項（博士課程学生）

対象者：令和元年度（令和2年3月）修了予定者

※「題目届」を提出期間（令和元年9月2日～6日）に提出した学生のみ申請可能。

申請期限：令和元年11月14日（木）17:00まで

申請場所：医学部大学院係（医学部2号館1階） ※学内便および郵送不可  
（平日9:00～17:00受付）

## ◆提出書類について

※①～⑥、⑧は必須。⑦、⑨は該当者のみ（原本を提出すること。PDF等の写し不可）

※①～⑨の順（⑦は学位授与願に記載の順）に揃えて提出すること

※必ず作成例、注意事項等をよく確認すること

①学位授与願（様式 課程 1-A）	1部
②審査結果報告用紙（様式 課程-2）	1部
③論文の内容の要旨（所定の様式）	1部（5部作成のうち1部提出）
④論文目録（様式 4-1）	2部
⑤履歴書（様式 5-1）	2部
⑥剽窃等チェック確認書（所定の様式）	2部（正1部、写し1部）
△⑦同意承諾書 ※共著・共同研究者がいる場合のみ	各1部
⑧博士論文（仮製本）	1部（5部作成のうち1部提出）
△⑨副論文 ※副論文がある場合のみ	1部（5部作成のうち1部提出）

### ①学位授与願

- ・専攻長、指導教員、本人の捺印が必要です。様式下部の署名欄以外の箇所は、印字で構いません。
- ・外枠は広げないこと。職歴が既定の欄に納まらない場合は、主なもののみ記入し、詳細は「⑤履歴書」に記入してください。

記載例）平成20年4月～平成23年3月 ○○病院医員

【参照】論文題目及び氏名の表記について

医学系研究科専攻長一覧

### ②審査結果報告用紙

- ・太枠内のみ記入してください。
- ・提出日（太枠内）は、学位授与申請日を記入し、枠外右上の日付は記入しないでください。

### ③論文の内容の要旨

- ・文字サイズは10ポイント程度を目安とし、A4判、横書きで片面刷り、左上でホチキス留めとしてください。
- ・日本語の場合は4,000字以内（英語の場合は2,000語以内）とし、全体で4ページ以内としてください。

【参照】要旨作成例

### ④論文目録

- ・2部とも本人の自署、捺印が必要です。

【参照】論文目録作成例

## ⑤履歴書

- ・全て日付まで記載してください。
- ・生年月日は和暦で記載してください（留学生及び学位記に西暦での表記を希望する場合を除く）。
- ・2部とも本人の自署、捺印が必要です。

【参照】履歴書作成例

医師国家試験合格・東大卒業・修了年月日一覧

## ⑥剽窃等チェック確認書

- ・指導教員へ、専用のソフトウェア（iThenticate）を用いてのチェックを依頼してください。
- ・右上の日付は剽窃チェックを行った日としてください。

## ⑦同意承諾書（共著・共同研究者がいる場合のみ）

- ・博士論文に含まれる研究内容について雑誌等で公表済み/予定の場合、著者名に名前が記載される方は全て「共著者」となり、「共著者」は必ず「共同研究者」として見なされます。もし「共著者」以外で論文の内容について共同で研究を行った者がいる場合には、どこまでの範囲を「共同研究者」に含めるかは指導教員へご相談のうえ、十分に確認してください。
- ・共著・共同研究者については、故人の場合を除き、同じ研究室の者、海外在住の者も必ず同意承諾書を提出してください。
- ・共著・共同研究者のサイン及び捺印済みの原本が全て漏れなく必要です（コピー、スキャンしたデータの印刷、画像貼り付け等不可）。必要に応じて郵送等で提出いただくよう手配してください。

【参照】同意承諾書作成例

## ⑧博士論文（仮製本）

【参照】博士学位論文作成要項  
製本作成例

## ⑨副論文（副論文がある場合のみ）

- ・副論文については、専攻により提出について取り決めがある場合があるので必ず指導教員に確認してください。
- ・学位論文と研究内容において関連があり、博士課程修了見込み者が著者で学術誌に掲載もしくは受理された原著論文を副論文としてください。
- ・副論文の左上をホチキスで止めてください。

## 注意

（注意1）書類は原則として日本語で作成すること。

（注意2）全ての書類において、論文題目が一致していること。

（注意3）専攻名は正しく記載すること（病因・病理学、生殖・発達・加齢医学、分子細胞生物学 等）。教室名・診療科名等を記載しないこと。

（注意4）論文題目及び共同研究者について、題目届提出時から変更があった場合は大学院係までその旨お知らせください。

## ◆申請期限について

前述の申請期限（令和元年11月14日）を過ぎての提出でも受け付けます（下記表参照）が、**審査期間が短くなるため今年度の修了には間に合わなくなる可能性が高くなります。**令和2年1月10日(金)を過ぎて提出した場合は今年度の修了には間に合いませんので注意してください。

## ◆「学位授与願」提出後の流れについて

「学位授与願」提出後、下記表の「審査委員通知期間」（平日9:00～17:00）に、学生証持参の上、大学院係までお越しください。論文審査委員5名と主査・副査を通知し、ご提出済みの「論文（仮製本）1部」「論文の内容の要旨1部」「審査結果報告用紙」「剽窃等チェック確認書（写）」（「副論文1部」）を返却します。

「学位授与願」提出日	審査委員名通知期間（大学院係窓口にて配布）
～ 10月11日(金)	10月24日(木)～10月30日(水)
<u>～ 11月14日(木)</u>	<u>11月27日(水)～12月3日(火)</u>
～ 12月6日(金)	12月19日(木)～12月25日(水)
～ 令和2年1月10日(金)	令和2年1月23日(木)～1月29日(水)

上記書類を受け取った後、すでに作成している4部とあわせ、

○主査の先生へ

・・・「論文（仮製本）」「論文の内容の要旨」「審査結果報告用紙」「剽窃等チェック確認書（写）」（「副論文」）

○主査以外の審査委員（4名）へ

・・・「論文（仮製本）」「論文の内容の要旨」（「副論文」）

を、各審査委員の先生に各自で届けてください。

審査委員会の日程調整は、主査の先生が行いますので、その指示に従ってください。

論文審査に合格し、主査から「審査結果報告用紙」が大学院係へ提出された学生には、12月下旬以降、最終手続きに必要な書類をメールにて案内します。なお、主査から「合格」の連絡を受けたのち、メールが届かない場合には大学院係までお問い合わせください。

その後、「データ（論文全文等）」及び「審査委員会報告書」（審査員5名の捺印が必要）等、最終手続き書類一式を令和2年2月26日（水）正午までに大学院係へ提出していただきます。提出が上記に間に合わない場合は、令和2年3月に修了することができませんので、ご注意ください。

## ◆博士論文の公表方法について

博士論文はインターネットの利用により公表することとなります。

参照：<http://www.m.u-tokyo.ac.jp/daigakuin/index.html#20140108>

<http://www.ndl.go.jp/aboutus/hakuron/index.html#chap5>

その他、学位申請手続きについて不明な点は医学部大学院係へお問い合わせください。

外線：03-5841-3309（内線：23309）

メールアドレス：[in@m.u-tokyo.ac.jp](mailto:in@m.u-tokyo.ac.jp)